



やさろ

矢代小学校だより
平成24年度 第3号
7月24日

おぼえていますか？ OOのこと

梅雨らしい雨も長続きしないうちに、過日 梅雨明けが宣言されました。その割には、湿気の多い日が続いている昨今の天気です。つい暑い！暑い！と言ってしまいますが、ふと思い出すと5月初めまでグラウンドの雪が残っていたのですね。（右の写真をご覧ください）

あの雪は、どこに行ってしまったのでしょうか。わずか3ヶ月ですが、改めて日本の季節の移り変わりの早さに驚かされます。そして、気がつけば、豪雪だった今年の冬のつらさを忘れて自分の記憶のあいまいさにもびっくりします。

同じように昨年の東日本大震災も、いつか私たちの記憶から去っていくのでしょうか。そうしない、させないためにも昨年と同じように「節電」に取り組むべきだと考えます。原子力発電所の事故のため、いまだ多くの人々が苦しみ、故郷に帰れない現実が続いていることを忘れないためにも。無理のない程度で取り組みましょう！



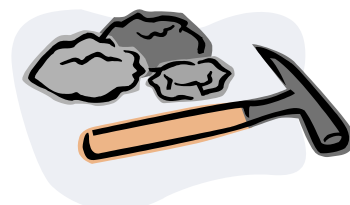
矢代小のなぞ

その4

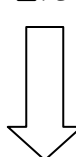


教室棟の2階から1階に降りる途中の踊り場にある不思議な展示物。これは何なのでしょう？近づいてよく見ると、土や石がいっぱい詰まっています。

これは、いつ、誰が、何のために作ったのでしょうか？



答え



約50年前に制作した「地層モデル」でした



木枠には、「稲葉橋より100m下流 窪がわのがけの水平な地層」(左側)「稲葉橋と窪橋の中間 窪がわのがけの水平な地層」(右側)と書いてあります。「軽石流」「熔結凝灰岩」「ローム」の標示も。

実は、これは昭和39年度に卒業した子どもたちの作品であることが分かりました。その年度の科学クラブの子どもたちが、夏休みに稲葉橋に出かけ、顧問の先生の指導のもと、崖の地層を注意深く掘り、パケツに入れて学校に運んで作成したとのこと。当時の科学クラブは、12人くらいでしたが、いずれも理科が大好きな子どもたちだったそうです。やがて矢代小が理科教育の黄金期を迎え、上越地区だけでなく県内でも有名になる昭和40年代の基礎を築いた時期の貴重な「作品(標本)」であることが分かりました。まさに輝かしい矢代小の歴史を示す貴重な展示物です。

ご来校の際は、ぜひご覧ください。当時の情熱を感じます。

家庭 地域に見守られ たくましく育つ夏休みに

7月25日～8月28日まで

いよいよ夏休みが始まります。子どもたちは、明日からの長い休みにわくわくしていることでしょう。夏休みは学校から家庭・地域へと学びの場を移します。ぜひ、いろいろな体験をして、学校ではできない学びをして欲しいと願っています。

2学期の始業日に、心も体も成長した子どもたちと会うのを楽しみにしています。

よりよい夏休みの過ごし方を、自分で考えよう!

- ・学習のきまり、生活のきまりを守ろう。
- ・長い休みだからできることに挑戦しよう!
- ・地域の行事に、どんどん参加しよう。



カミナリが鳴っている間は、家の中等で待つ。鳴り終わって15分くらいたってから動き始めよう。

何気ない生活場面に潜む危険に自ら気づき、避ける力を育てましょう。

家族の一員として自分ができることを実行しよう!

- ・わが家の「節電」リーダーになろう。
- ・できることは、自分でしよう。(洗濯、そうじ、料理など)



朝の涼しいうちに勉強しよう。ラジオ体操も忘れずに参加しよう!

自分の命は、

自分で守ろう!

- ・子どもだけでは、川や砂防公園で遊ばない!
- ・不審者に出会わないように注意!
- ・自転車は、ルールを守って乗ろう。特に「**交差点注意!**」

体をきたえよう!

- ・夏休みでも「早寝、早起き、朝ごはん」
- ・食後の歯みがき(1日3回)をしよう。
- ・栄養のバランスを考えて、食べよう。
- ・体力づくりに挑戦!